

尾張旭市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する

条例の特例を定める条例の制定について

討論要旨 片瀧卓三議員

新型コロナウイルス対策の財源として活用してもらうために、全国で議員報酬などを削減する動きがあることや議員報酬削減の効果は限定的であったり、パフォーマンスの側面が強いなど、懐疑的な議会もある。

提案理由には新型コロナウイルス感染症の拡大による市民生活等への影響を鑑み、市議会議員の月額報酬の削減で、市内経済復興や生活困窮世帯への支援策の財源としている。報酬削減等で市民に寄り添う気持ちは理解するが、議会の中の議論では、行政視察や政務活動費を含めた議会費の削減を全会一致で認め合い、決議として約450万円を新型コロナウイルス対策の財源に活用する内容の議論を行った。

議員報酬についての削減の具体的な反対理由として、これからの地方議員のなり手不足の課題となる中、一時的に報酬削減しても十分な対策にはならないということを懸念している。

議会・議員の本来の仕事は何か？今回であれば新型コロナウイルスについての対策を考えることではないだろうか。このコロナ禍で、尾張旭市議会として推進してきたことは、新型コロナウイルス感染症対策のために要望書（意見書）をまとめ上げ、国へ伝えてきたことや市民の小さな声を聴き、各党派等から多くの要望書を市に提出した結果、市も要望に答えていただいたことである。

公明党尾張旭市議団としても、これからもスピード感をもって市民の声を行政に届け、市民要望の実現が重要と考えている。

議員報酬削減に関しての議員提案については、全議員の賛同を得ることも必要と考えており、これからも慎重な議論の時間が必要と考える。